

かわさき市民アカデミー開学30周年記念論文公募

かわさき市民アカデミー 学長 馬場 康雄

「かわさき市民アカデミー」は、川崎市が後援する本格的な市民教育機関として、1993年秋に開設されました。当初は市の外郭団体である「生涯学習事業団」が運営に当たりましたが、やがて市民有志が運営する NPO 法人に生まれ変わり、開学から四半世紀を経るころには、講座数は60近く、年間受講生数は延べ 5,500 人を超える規模になり、提供される講義の質の高さにおいても日本有数の存在へと成長しました。

コロナ禍は市民アカデミーにも大きな打撃を与え、そこからまだ完全に立ち直ったとはいえませんが、災いを転じて福と為すという言葉どおり、オンライン講義の拡充などの方策で、市民アカデミーならではの興味深く有益な「知の営み」を、より多くの人々に届けるべく努力を重ねています。

そして、今年 2023 年に、かわさき市民アカデミーは開学30周年を迎えました。これを記念して市民から論文を募り、厳正な審査によって優れた論文を選び、著者の榮譽を讃えるとともに、論文の内容を広く知らしめたく思います。

おりしも、川崎市は、2024 年に、市制施行 100 周年を迎えます。そこで論文公募の全体的なモチーフを「市制 100 年を迎える川崎」としたうえで、川崎市の過去・現在・将来に関わる何らかの題材を自ら設定して、論じていただきます。

例えば、川崎市の風土、地誌、自然環境、歴史、産業構造、人口動態、都市インフラ、街づくり、都市景観、交通網、住環境、福祉制度、行政活動、市政の歴史、少子高齢化社会、ボランティア活動、文化・芸術活動、スポーツ、文学に描かれた川崎、映像の中の川崎など、他にいくらかでも題材はあるでしょう。複数の題材を組み合わせることも考えられます。

文体、切り口、構成は自由です。「調査」「研究」にとどまらず「提言」の要素が含まれている論文も歓迎します。論文においては、主張を裏付ける事実やデータを示すとともに、他人の言説に基づいて論じる際は、典拠や引用元がわかるように書いてください。また、公刊公表されていないもの、他の企画に応募していないものに限りません。

応募に関しては、裏面の応募要領を参照してください。



【応募要領】

1. 論文提出者

川崎市在住者、あるいは、かわさき市民アカデミー受講経験者

2. 論文の形態

- デジタル原稿(Word 版または PDF 版)
- 論文題名、著者名、連絡先を明記
- 日本語で 1,600 字 1 枚×30 枚以内(図版、写真を含む)
 - * 外国語の場合は、日本語翻訳を付け、翻訳を上記の制限に納めること
 - * 図版、写真は 1 点 400 字としてカウントする
(図版、写真についても出所を明示)

3. 提出先

- かわさき市民アカデミー事務局
 - * メールアドレス info@npoacademy.jp
 - * 住所 〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41
川崎市生涯学習プラザ 3F
- 電子ファイルとプリントアウト 1 部の両方を提出(郵送可)

4. 締め切り

2023年 9 月 11日(月) 末日(※締切を延長しました)

5. 入賞の発表

- 12 月 10 日(日)の記念パーティーにおいて
賞状授与、審査委員長による講評、受賞スピーチなど
- 本人への通知は 11 月下旬
- 受賞作品は製本して市内各所の公共施設に配布

お問い合わせ・連絡先

認定NPO法人かわさき市民アカデミー 事務担当：西山
〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ 3階
TEL : 044-733-5590 FAX : 044-722-5761